

REVISED PCT CLAIMS  
1,2,4-11 FILED NOV. 12, 2003  
請求の範囲  
UNDER PCT ART. 34

PCT/JP03/04261  
ANNEX OF INT'L. PRE.  
EXAM. REPORT

1. (補正後) 金属粒子と、該金属粒子の表面を被覆する単層または複層の被膜とを備えた着色金属顔料であって、前記金属粒子の表面に、モリブデンおよび/またはリンを元素として含む酸化膜からなるモリブデンーリン被膜を備えており、かつ該単層または複層の被膜の少なくとも一層は、コバルトを元素として含む無水酸化膜からなるコバルト被膜であることを特徴とする着色金属顔料。
2. 前記コバルト被膜の内側に、珪素および/またはアルミニウムを元素として含む酸化膜からなる珪素ーアルミニウム被膜を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。
3. (削除)
4. 前記コバルト被膜の外側に、チタニウム、ジルコニウム、亜鉛、鉄、クロム、セリウムからなる群より選ばれる一種以上の元素を含む酸化膜または酸窒化膜からなる第二被膜を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。
5. 前記第二被膜は、チタニウムを元素として含む酸化膜または酸窒化膜からなることを特徴とする請求項 4 に記載の着色金属顔料。
6. 前記第二被膜の外側に、アルミニウム、珪素、セリウムからなる群より選ばれる一種以上の元素を含む酸化膜からなる耐候被膜を備えていることを特徴とする請求項 5 に記載の着色金属顔料。
7. 請求項 1 に記載の着色金属顔料と、樹脂とを含有する樹脂組成物。
8. (追加) 前記コバルト被膜は、 $\text{CoO}$ 、 $\text{Co}_2\text{O}_3$ 、 $\text{Co}_3\text{O}_4$ 、 $n\text{CoO} \cdot m\text{Al}_2\text{O}_3$  および  $n\text{CoO} \cdot m\text{SiO}_2$  からなる群より選ばれる 1 種以上の組成を有する化合物を材質として含み、前記  $m$  および前記  $n$  は正数であることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。
9. (追加) 前記コバルト被膜に含有されるコバルト元素の量は、前記金属粒子 100 質量部に対して 0.5 ~ 50 質量部の範囲内であることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。
10. (追加) 前記モリブデンーリン被膜は、 $\text{MoO}_3$ 、 $\text{Mo}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MoO}$ 、 $n\text{Al}_2\text{O}_3 \cdot m\text{MoO}_3$ 、 $n\text{Al}_2\text{O}_3 \cdot m\text{Mo}_2\text{O}_3$ 、 $n\text{Al}_2\text{O}_3 \cdot m\text{MoO}$ 、 $\text{P}_2\text{O}_5$  およ

び  $n \text{ Al}_2\text{O}_3 \cdot m \text{ P}_2\text{O}_5$  からなる群より選ばれる 1 種以上の組成を有する化合物を材質として含み、前記  $m$  および前記  $n$  は正の実数であることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。

- 5 11. (追加) 前記モリブデン—リン被膜に含有されるモリブデンおよび／またはリンの元素としての量は、前記金属粒子 100 質量部に対して 0.01 ~ 5.0 質量部の範囲内にあることを特徴とする請求項 1 に記載の着色金属顔料。